

内視鏡洗浄による *Helicobacter pylori* 感染の予防効果

Conventional cleaning and disinfection techniques eliminate the risk of endoscopic transmission of *Helicobacter pylori*: Fantry GT, et al (Am J Gastroenterol 90: 227-231, 1995)

内視鏡検査による HBV, HIV などの感染が問題となっている。今回は、特に *Helicobacter pylori* (以下 HP) の伝染媒体となる可能性を、インフォームド・コンセントの得られている一般内視鏡検査 107 例で検討した。HP の検索は、内視鏡下で前庭部から生検した 2 個の組織での

CLO テスト、および胃液、洗浄液を PCR 法で行った。内視鏡洗浄は、過酢酸を使用した電動式自動洗浄器群 56 例と、グルタルアルデヒドを使用した手洗い群 51 例の 2 群で比較した。両群ともに洗浄終了時、最終的に 70~90% のアルコールを噴射し乾燥させた。

検討例の HP 陽性は PCR 法では 107 例中 41 例 (38%), CLO テストでは 25 例 (23%) であった。これを比較した結果、CLO テストの偽陰性は 39%, 偽陽性はなかった。次に、内視鏡施行直後の、洗浄前のスコープ鉗子孔洗浄液の HP 陽性率は、PCR 法で 41 例中 25 例 (61%) であった。洗浄方法は 2 種類ともにマニ

ュアル化された方法を厳守すれば、洗浄後は全例 HP (-) となり、洗浄方法による差はなかった。

HP の同定法として、PCR 法は CLO テストより高感度で良好な方法であるが、HP (-) 例に使用した内視鏡で次の受検者が HP (+) となった例の報告から、PCR 法での偽陽性の問題が検討される必要がある。洗浄効果については、マニュアル化された方法を厳守すれば、どの方法でも洗浄後は菌は検出されず、内視鏡による感染は予防可能と考えられた。問題はマニュアルが守られているか否かである。

(関東通信病院消化器内科

安部 孝 抄)